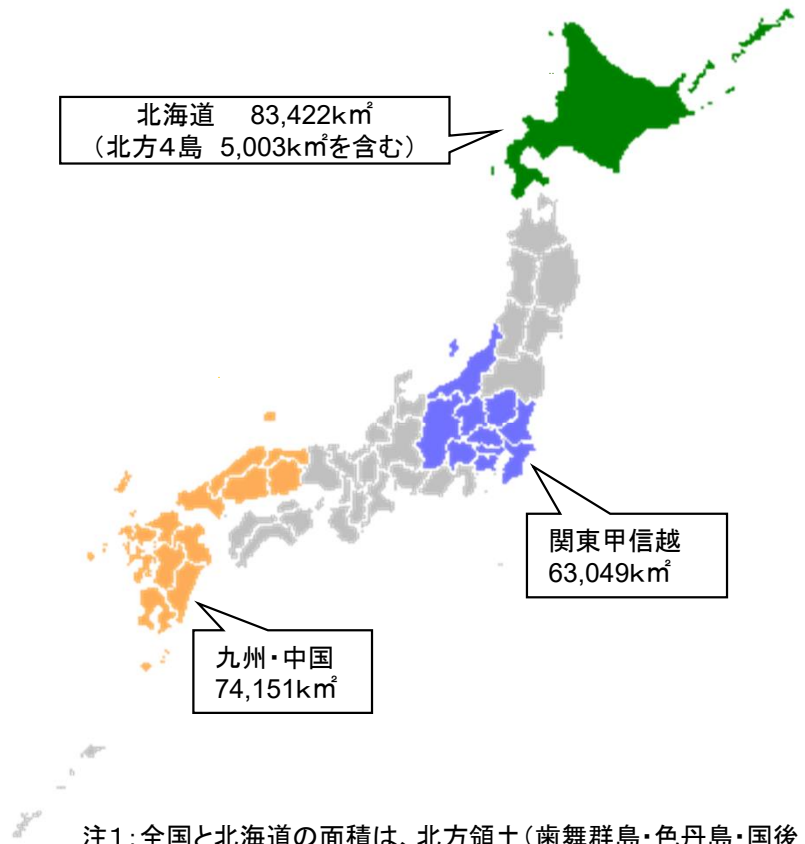


参考資料: 北海道の現状

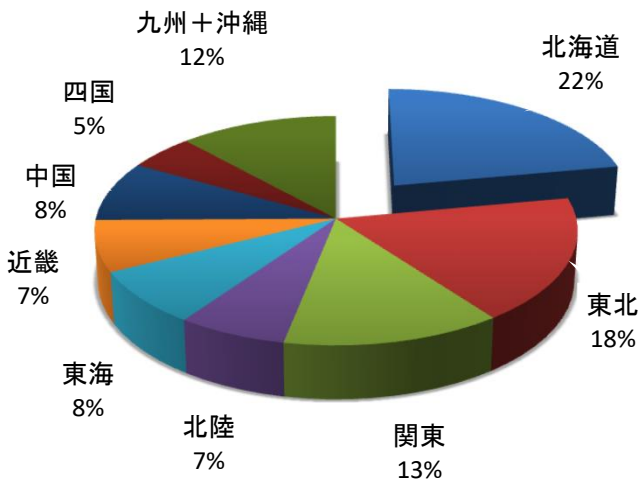
面積

北海道の面積は8万3,422 km²で、国土のおよそ22%を占める。

全	国	377,975km ²					
北	海	道	83,422km ²				
全	国	比	22.1%				
関	東	甲	信	越	63,049km ²		
九	州	+	中	国	地	方	74,151km ²
オ	ー	ス	ト	リ	ア	83,878km ²	
韓	国	100,432km ²					



【国土に占める北海道の面積比】



注1: 全国と北海道の面積は、北方領土(歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島)5,003km²含む。

注2: 画質及び紙幅の関係上、全ての島嶼を本地図中で正確に表記できているものではない。

出典: 総務省統計局「世界の統計2024」
国土地理院「令和6年全国都道府県市区町村別面積調(令和6年1月1日時点)」

人口

北海道の人口は約522万人(対全国比約4.1%、47都道府県中8位、人口密度は1km²当たり66.6人(全国の約5分の1)(令和2年)となっており、広い地域に人が分散して居住する広域分散型社会を形成している。

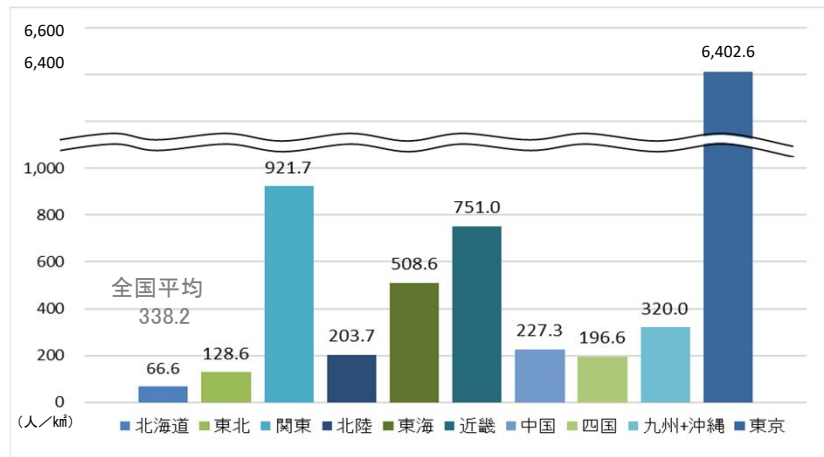
人口

全	国	1億2,615万人	
北	海	道	522万人
全	国	比	4.1%

人口密度

全	国	338.2人/km ²	
北	海	道	66.6人/km ²

全国の人口密度



出典: 総務省統計局「令和2年国勢調査」

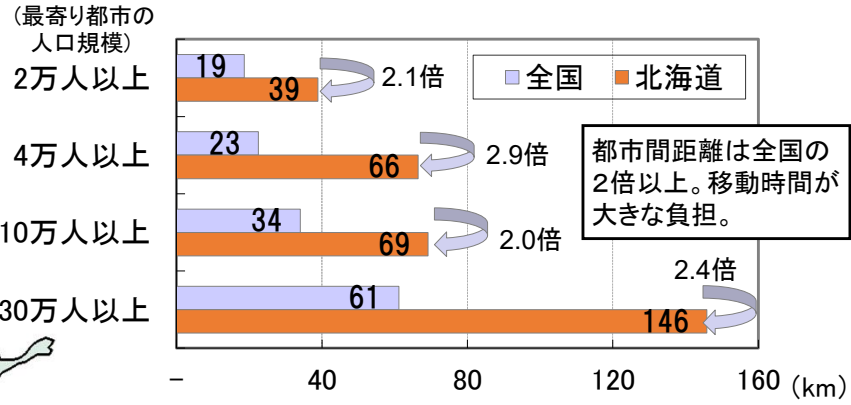
※人口密度算出にあたり、北方領土は除かれている。

広域分散型社会の課題

【北海道の広さ】

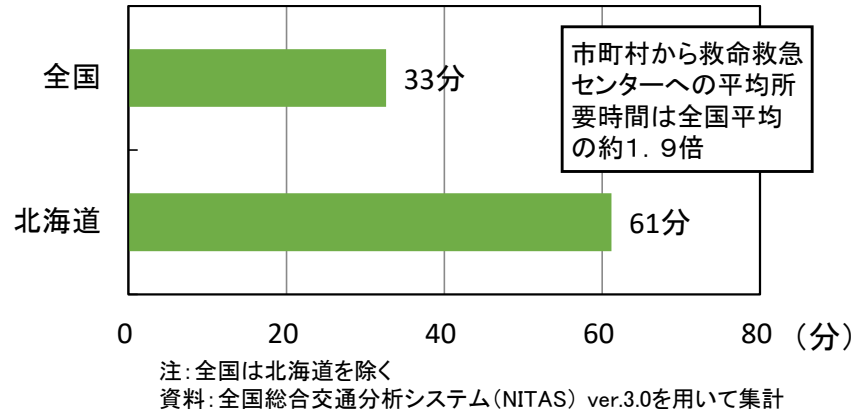


【最寄り都市までの平均道路距離】



都市間距離は全国の2倍以上。移動時間が大きな負担。

【救命救急センターへの平均所要時間】

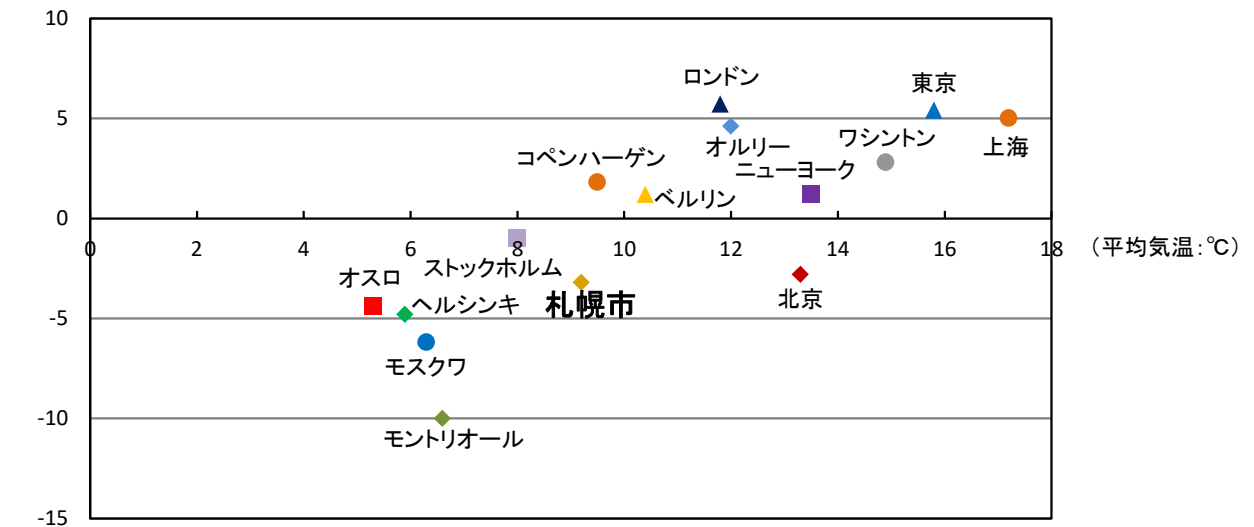


市町村から救命救急センターへの平均所要時間は全国平均の約1.9倍

気候

札幌市の年平均気温は9.2℃、月別平均気温の最も低い1月の平均気温は-3.2℃であり、世界の主要都市と比べ低い。

世界の主要都市の平均気温・最低気温

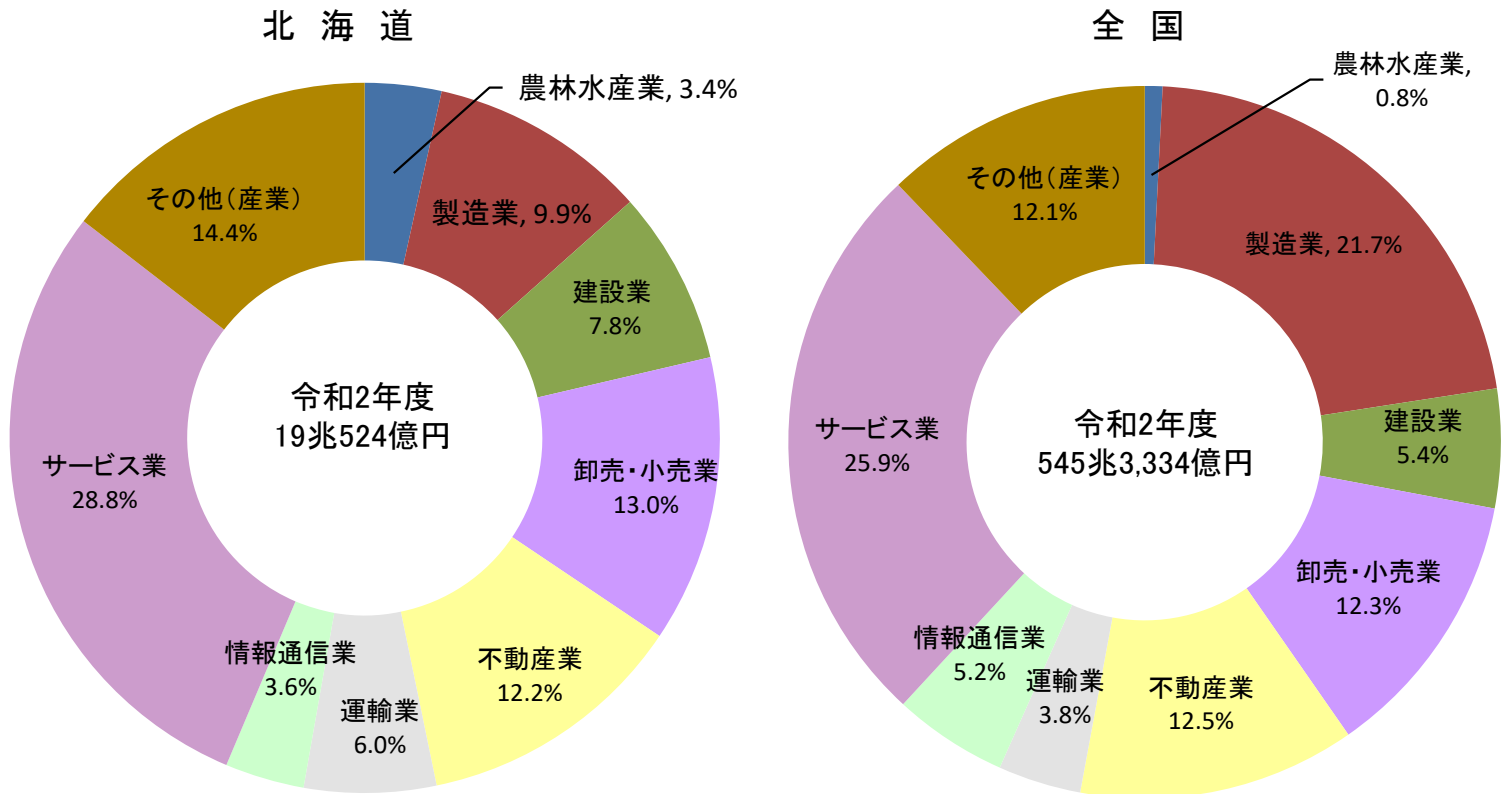


注: 平均気温は1991年から2020年までの年平均値、最低気温は月別平均気温の最も低い月の月平均値である。
(都市により調査期間が異なる場合がある)

出典: 国立天文台編「理科年表(2024年)」

道内総生産は19兆524億円であり、産業構造は全国に比べ農林水産業の構成比が高く、製造業は低い。

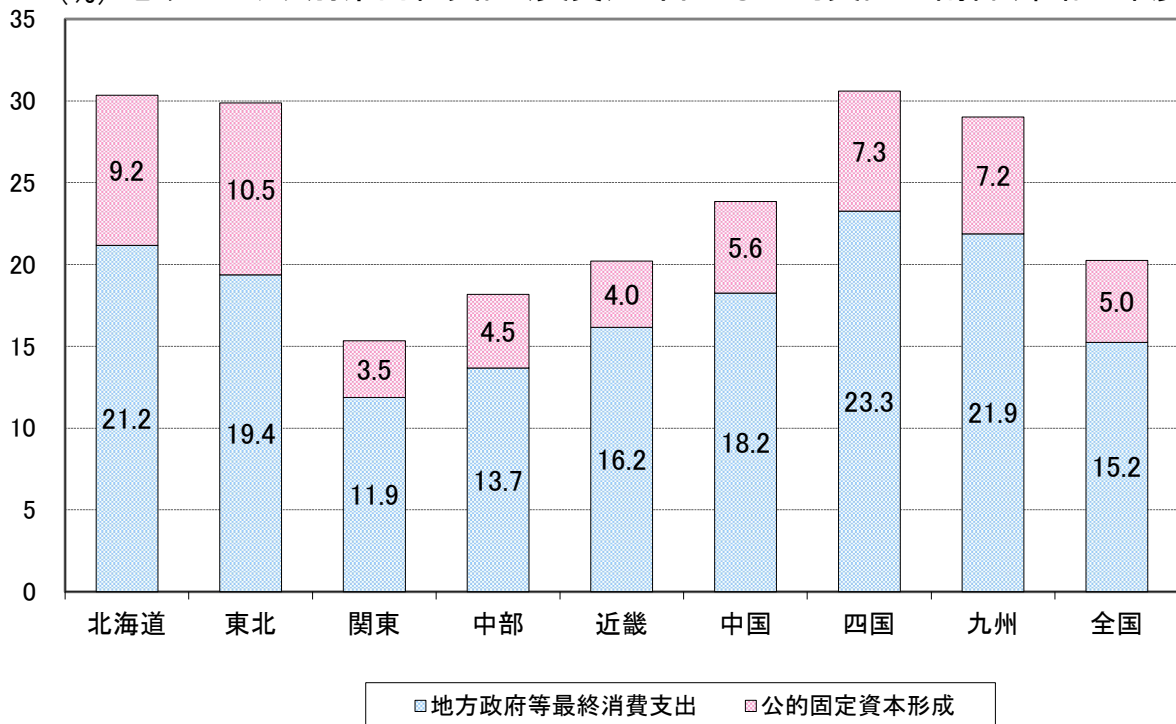
総生産(実質)の構成比



出典: 内閣府「県民経済計算(令和2年度)(2008SNA、平成27年基準計数)」

道内総支出に占める公的支出の割合は30.4%であり、全国の20.2%と比べ大きい。

(%) 地域ブロック別県内総支出(実質)に占める公的支出の割合(令和2年度)

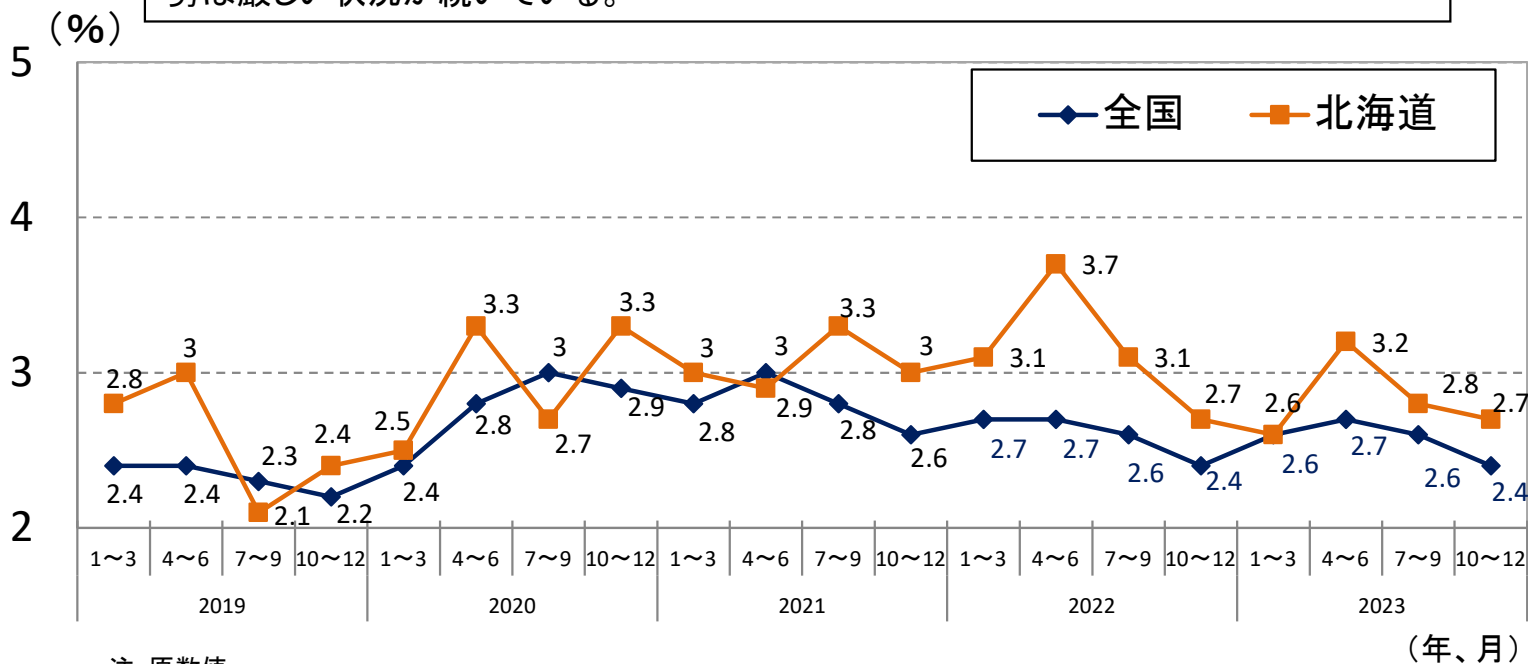


出典: 内閣府「県民経済計算(令和2年度)(2008SNA、平成27年基準計数)」

雇用

①完全失業率の推移

北海道の完全失業率は、長期にわたり全国を上回って推移する傾向にあり、雇用情勢は厳しい状況が続いている。

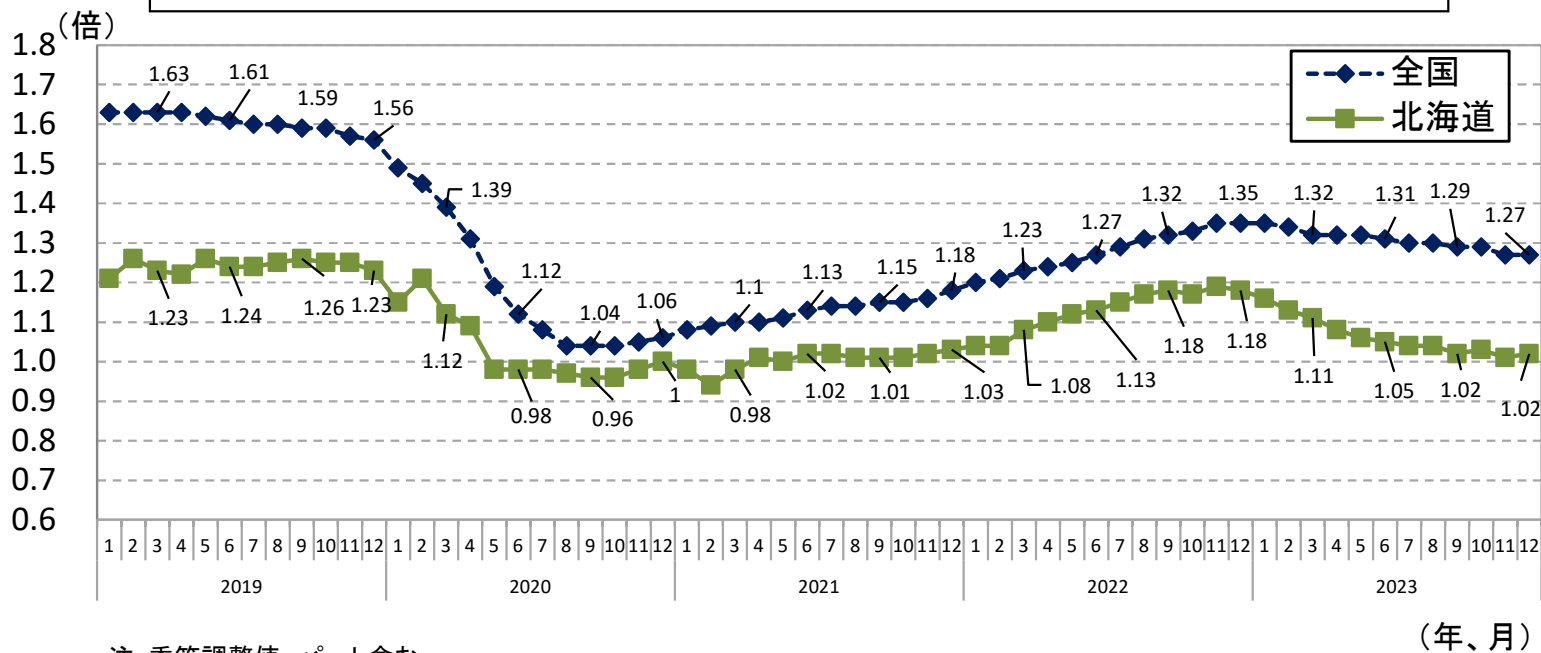


注: 原数値

出典: 総務省「労働力調査」

②有効求人倍率の推移

北海道の有効求人倍率は、全国と比較して低調に推移している。



注: 季節調整値。パート含む。

出典: 厚生労働省「一般職業紹介状況」

農業

北海道では、全国の約4分の1の耕地面積を活かした生産性の高い農業を展開している。令和4年の農業産出額は1兆2,919億円で、全国の約14%を占めている。

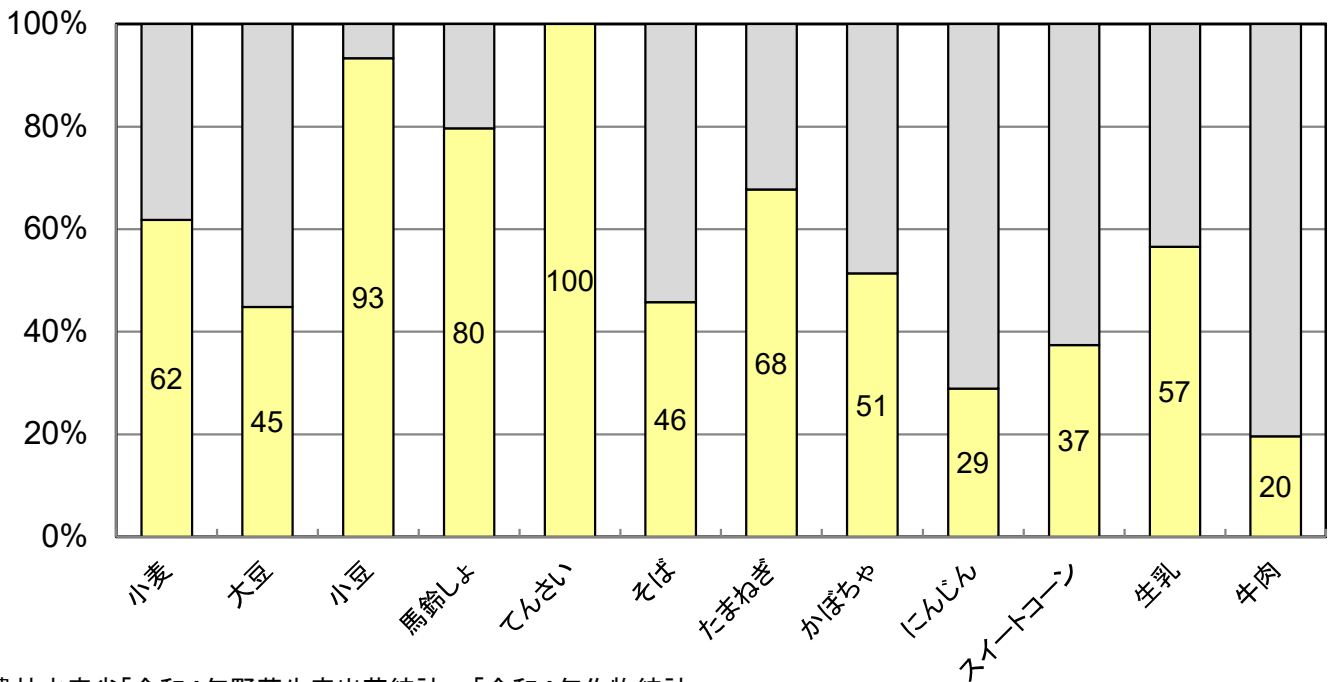
北海道農業の現状

内訳	単位	北海道	全国	全国比	調査年
総農家戸数	千経営体	32	929	3.5%	R5
販売農家戸数	千経営体	28	889	3.1%	R5
うち主業農家	千経営体	21	191	10.8%	R5
農業就業人口(販売農家)	千経営体	5	41	11.5%	R5
基幹的農業従事者数(個人経営体)	千人	68	1,164	5.8%	R5
耕地面積	千ha	1,141	4,297	26.6%	R5
1経営体当たり耕地面積(農業経営体)	ha	34.0	3.4	10.0倍	R5
家畜飼養頭数					
乳用牛	千頭	843	1,356	62.1%	R5
肉用牛	千頭	566	2,687	21.1%	R5
1戸当たり乳用牛頭数	頭	156.6	107.6	1.5倍	R5
農業産出額	億円	12,919	90,147	14.3%	R4

出典：農林水産省「令和5年農業構造動態調査」、「令和5年耕地面積及び作付面積統計」、「令和5年畜産統計」、「令和4年生産農業所得統計」

品目別の生産量(令和4年)では、小麦、小豆、馬鈴しょ、てんさい、たまねぎ、かぼちゃ、生乳等多くの品目がシェア全国一となっている。

北海道が生産量で全国トップの農畜産物

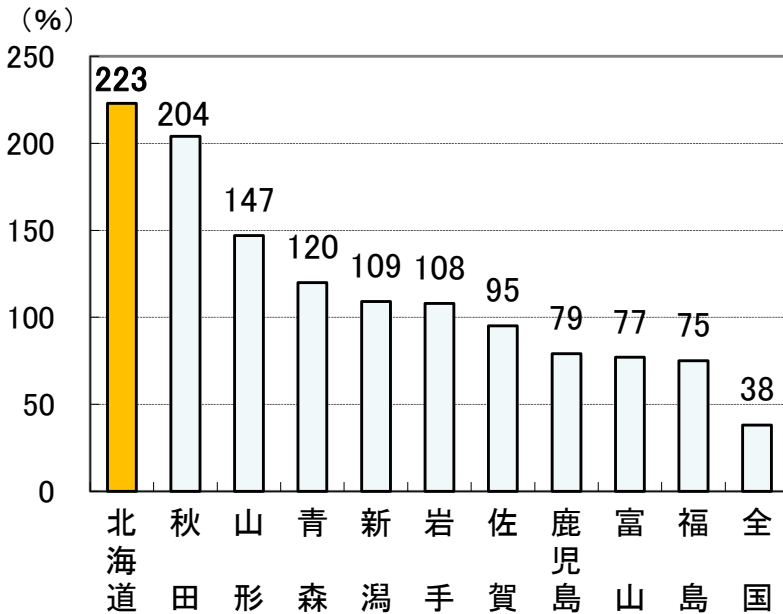


出典：農林水産省「令和4年野菜生産出荷統計」、「令和4年作物統計」、「令和4年牛乳乳製品統計」、「令和4年畜産物流通統計」

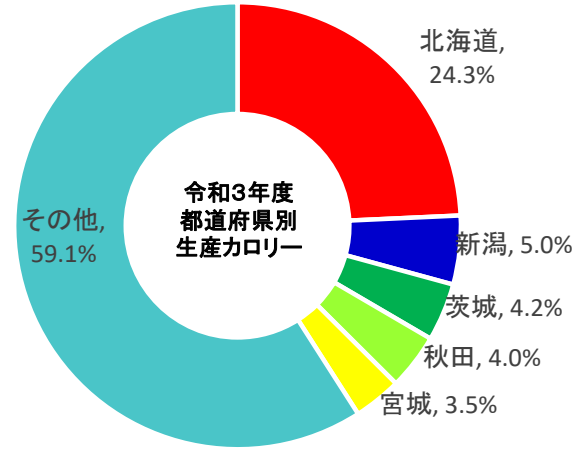
□北海道以外 □北海道

北海道の食料自給率は223%（令和3年度、概算値）であり、我が国における食料の安定供給に重要な役割を果たしている。

都道府県別カロリーベース食料自給率(トップ10位)
(令和3年度概算値)



国内自給カロリーの都道府県別シェア



出典：農林水産省「令和3年度(概算値)、令和2年度(確定値)の都道府県別食料自給率」

資料：農林水産省「令和3年度(概算値)、令和2年度(確定値)の都道府県別食料自給率」、「令和3年度食料自給率・食料自給力指標について」及び 総務省統計局「都道府県、年齢(5歳階級)、男女別人口-総人口、日本人人口(2021年10月1日現在)」を基に北海道局にて作成

水産業

令和4年の海面漁業・養殖業生産量は98.5万トンで全国386.3万トンの約26%を占めている。また、産出額は3,011億円で全国1兆3,641億円の約22%を占めており、いずれも全国第1位となっている。

北海道水産業の現状(令和4年)

(単位：千t(生産量)、億円(産出額)、%)

区分	北海道		全国		全国比	
	生産量	産出額	生産量	産出額	生産量	産出額
海面漁業・養殖業	985	3,011	3,863	13,641	25.5%	22.1%
海面漁業	870	2,730	2,951	9,136	29.5%	29.9%
海面養殖業	115	281	912	4,505	12.6%	6.2%

出典：農林水産省「令和4年漁業・養殖業生産統計」、「令和4年漁業産出額」

林業

北海道の森林面積は、全国の約22%を占めており、二酸化炭素の吸収源として、地球温暖化防止に重要な役割を果たしている。

令和4年の素材生産量は全国の約15%を占め、東北、九州と並ぶ木材の一大供給基地となっている。特に、カラマツは全国の約64%となっている。

北海道林業の現状

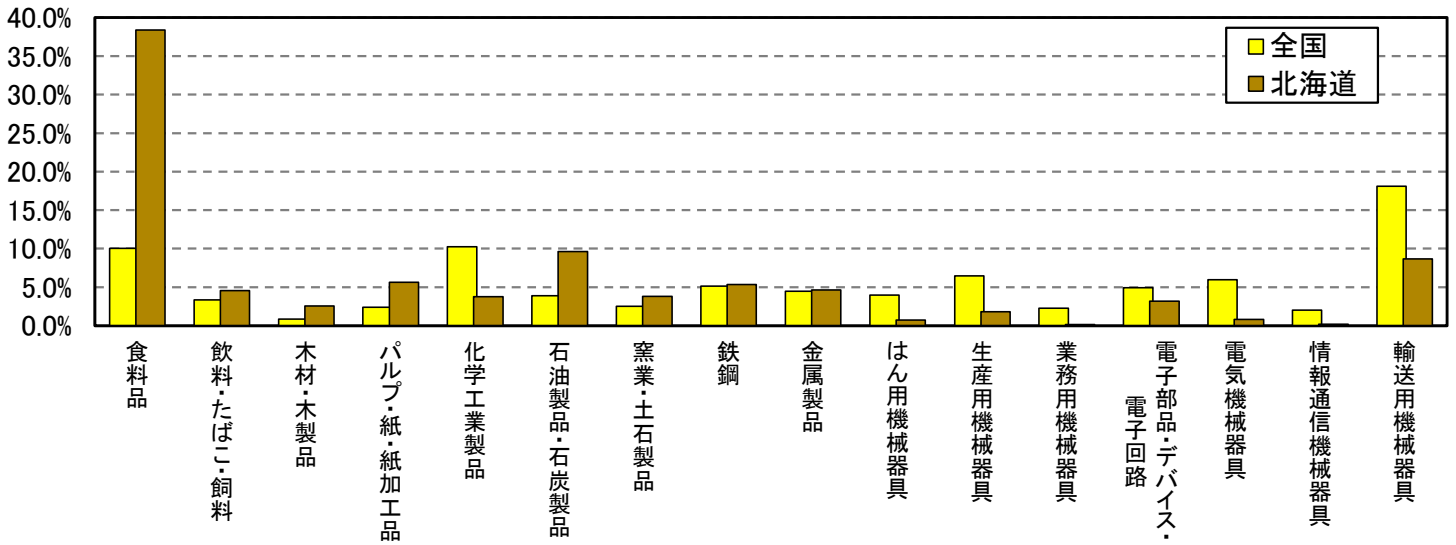
項目	単位	北海道	全国	全国比	調査年
森林面積	万ha	554	2,502	22.1%	R4.3.31現在
林業産出額	億円	480	5,100	9.4%	R4年
国産材生産量	万m ³	334	2,208	15.1%	R4年
うちカラマツ	万m ³	123	193	63.6%	

出典：農林水産省「令和4年林業産出額」、「令和4年木材統計」、林野庁「森林資源の現況(令和4年3月31日時点)」

工業

北海道の製造品出荷額構成比は、農水産物を加工する食料品が大きい一方で、機械類が小さい。

主な産業別製造品出荷額構成(2020年)

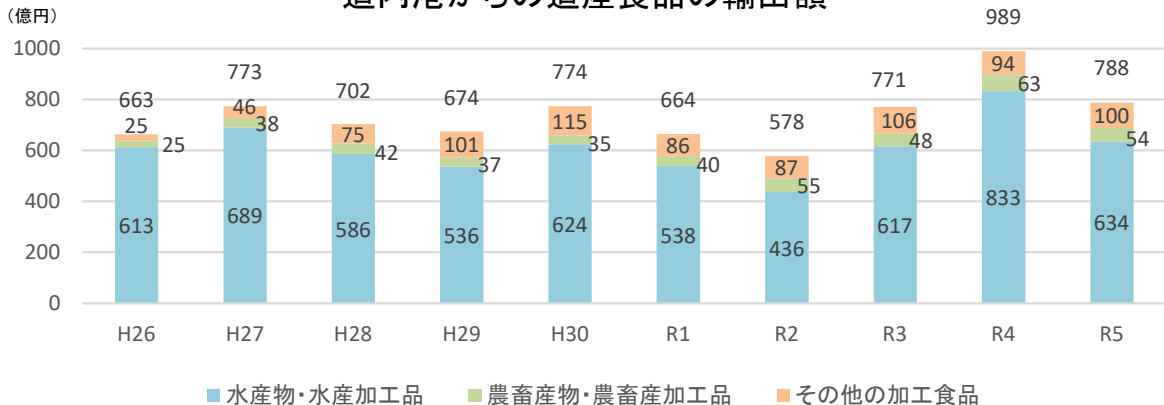


出典：経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査結果」から北海道局作成

道産食品輸出

令和5年の道産食品輸出額は、前年から201億円減の788億円となっている。

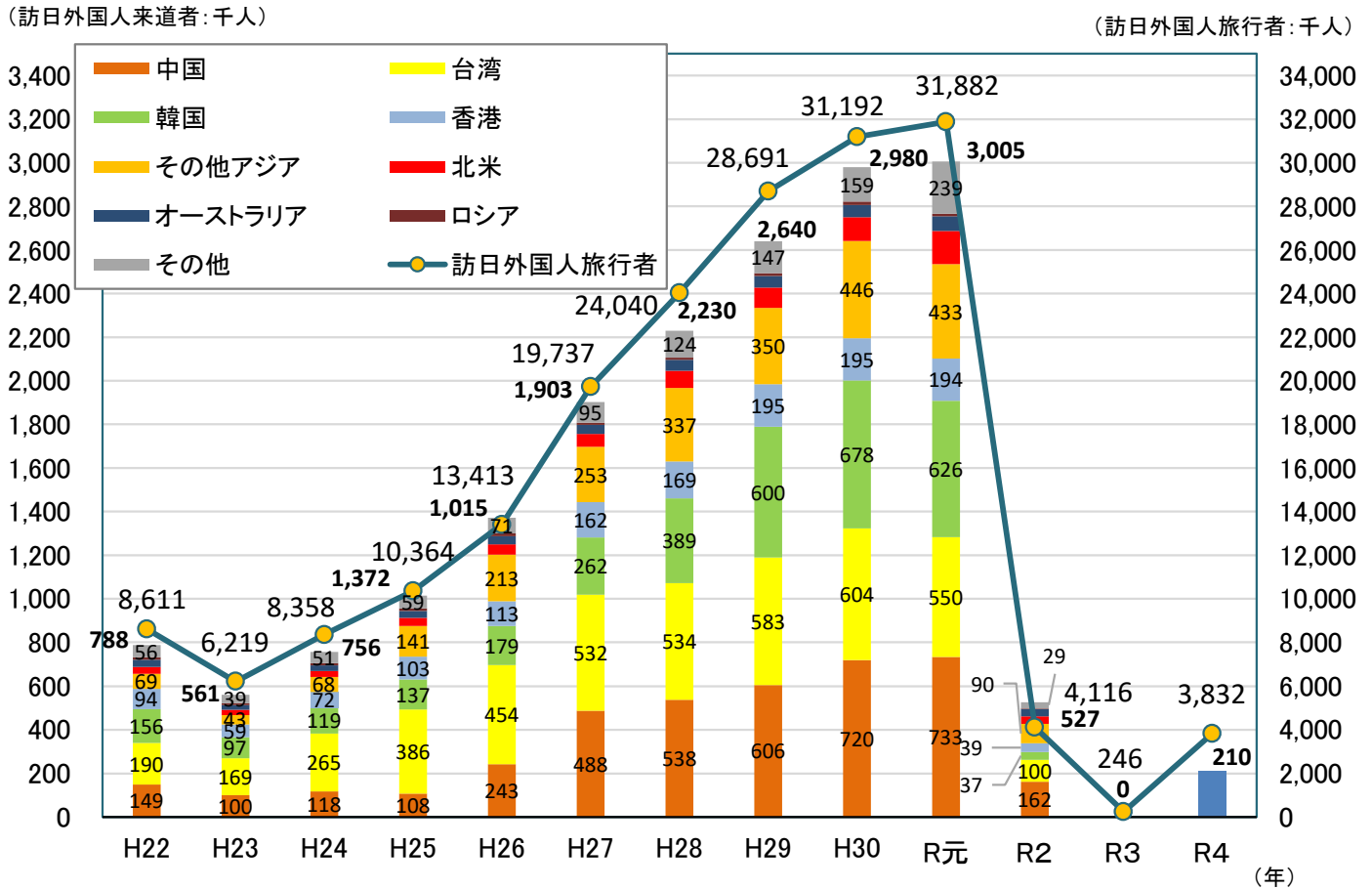
道内港からの道産食品の輸出額



出典：北海道「北海道食の輸出拡大戦略推進状況報告書」から北海道局作成

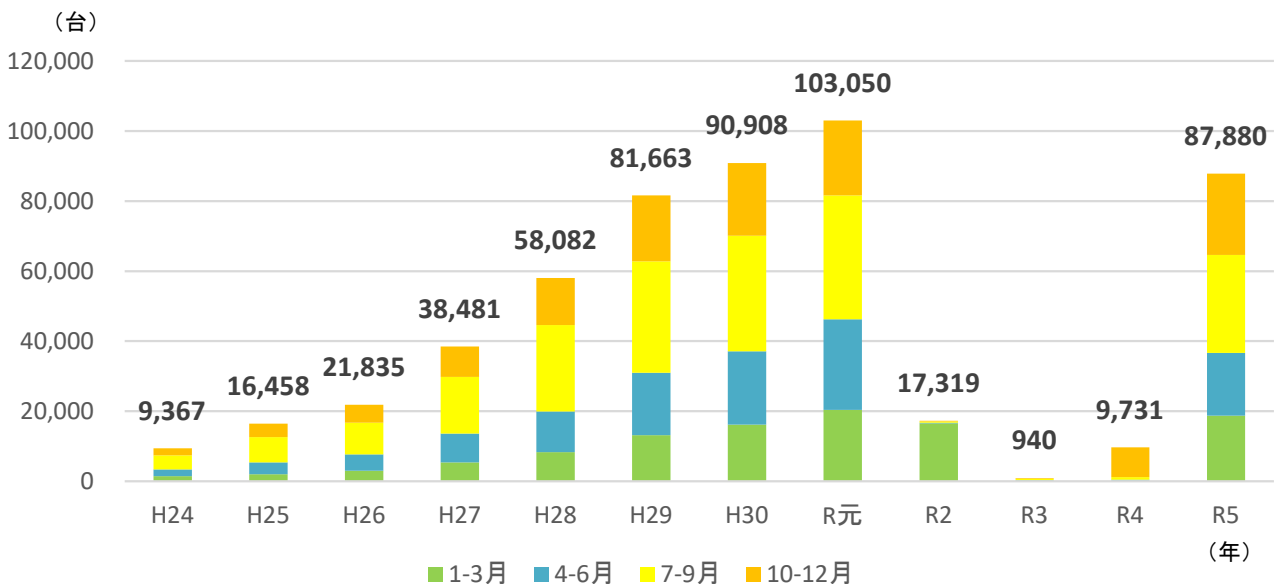
令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、訪日外国人旅行者数及び訪日外国人来道者数は大幅に減少していたが、令和4年には回復傾向にある。
 また、北海道内の外国人レンタカー貸渡台数も令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少していたが、令和4年以降には回復傾向にある。

訪日外国人旅行者数と訪日外国人来道者数(国・地域別)の推移



出典：北海道「北海道観光入込客数調査報告書」、日本政府観光局「訪日外客数統計」
 ※令和4年の国・地域別の訪日外国人来道者数の内訳が公表されていないため、令和4年は国・地域別の訪日外国人来道者数の内訳を表示していない。

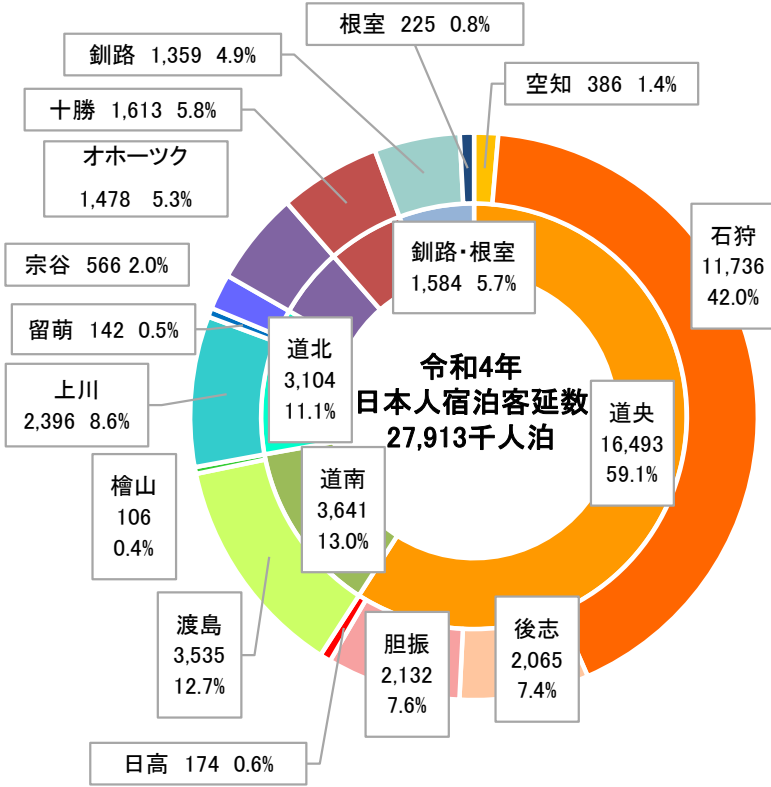
外国人レンタカー貸渡台数の推移（北海道）



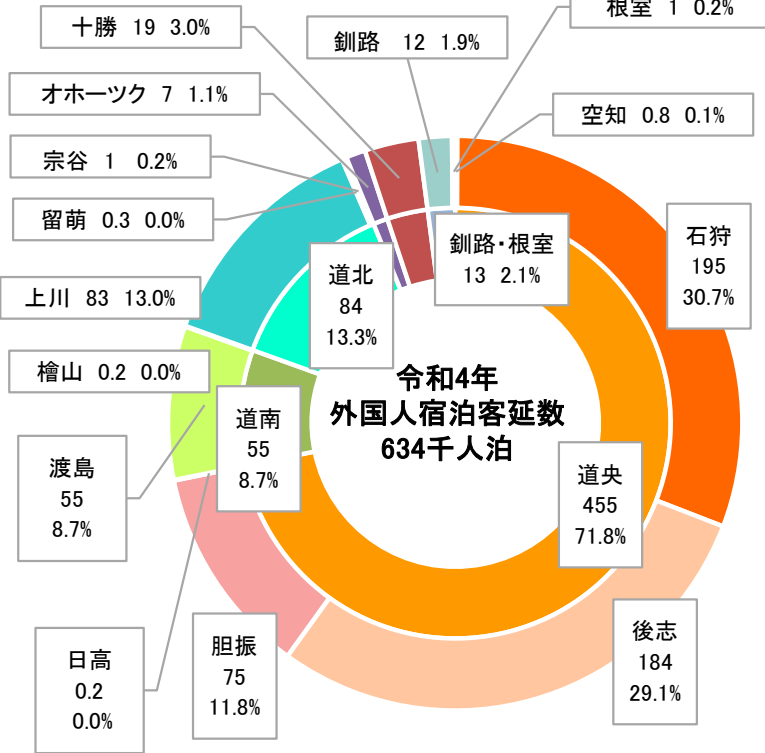
出典：北海道地区レンタカー協会連合会調べ

来道外国人宿泊客延数は、道央圏が全道の約72%を占めており、来道外国人宿泊客の道央圏への集中が顕著となっている。

振興局別日本人宿泊客延数 (令和4年)



振興局別来道外国人宿泊客延数 (令和4年)



出典：北海道「北海道観光入込客数調査報告書」から北海道局作成

※ グラフ中の数字は千人泊、%は全体に占める比率
※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合がある

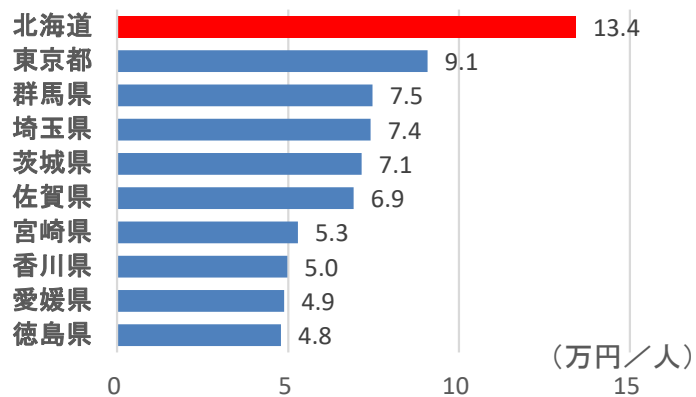
北海道はアジアにおける訪日旅行先としてニーズが高い地域であり、訪日外国人1人当たりの観光消費額が全国1位となっている。

日本の観光地への訪問意欲

	アジア全体	中国	台湾	香港	韓国	タイ	インドネシア	マレーシア	シンガポール
1位	東京	富士山	北海道	北海道	東京	東京	東京	富士山	北海道
2位	北海道	北海道	京都	東京	大阪	富士山	富士山	東京	富士山
3位	富士山	東京	大阪	大阪	札幌	北海道	大阪	北海道	大阪
4位					北海道				
5位						北海道			

出典：株式会社日本政策投資銀行北海道支店「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査(2022年度版)」

訪日外国人旅行者の観光消費額単価(平成29年)



出典：観光庁「共通基準による観光入込客統計」から北海道局作成
※観光目的宿泊客の観光消費額単価について、上位10都道府県を抽出

エネルギー

北海道は風力、中小水力、太陽光、地熱などの再生可能エネルギーが豊富であり、その利活用の促進が見込まれる。

北海道の再生可能エネルギー導入ポテンシャル

発電種別	全国順位	備考
風力(陸上)	1位	全国に占める割合:約51%
風力(洋上)	1位	全国に占める割合:約29%
中小水力(河川)	1位	全国に占める割合:約10%
太陽光	1位	全国に占める割合:約25%
地熱	3位	全国に占める割合:約11%

出典:環境省「再生可能エネルギー情報提供システム【REPOS(リーポス)】」
(2024年4月時点)から北海道局作成

北海道の1人当たりの温室効果ガス排出量[11.4t-CO₂/人]は、冬期間が長く積雪寒冷地域であること、広域分散型社会であることなどから、全国平均[9.1t-CO₂/人]よりも多くなっている。

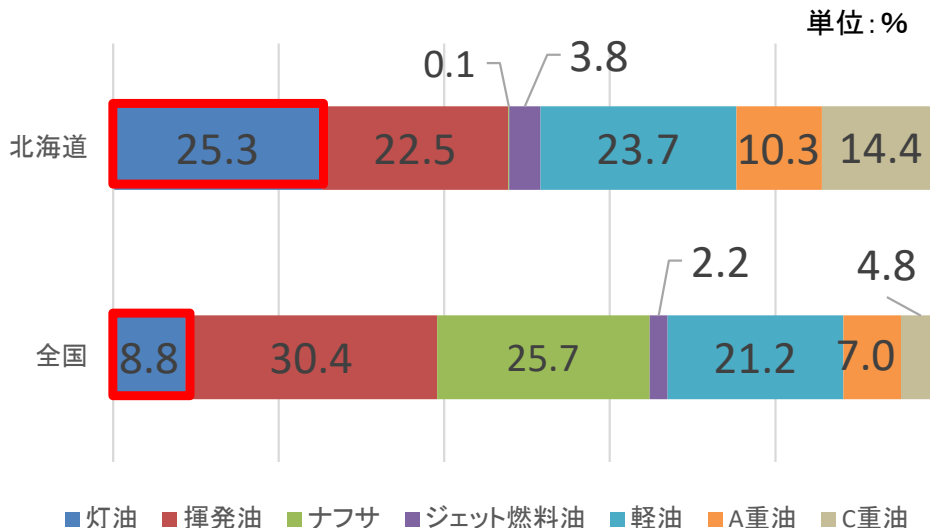
全国の温室効果ガス排出量との比較(令和3年度。北海道は推計値)

区分	北海道	全国
温室効果ガス排出量	5,960 万 t-CO ₂	115,000 万 t-CO ₂
1人当たり	11.4 t-CO ₂ /人	9.1 t-CO ₂ /人

出典:北海道「北海道における温室効果ガス排出量の状況と北海道地球温暖化対策推進計画に基づく令和3年度の施策等の実施状況報告書」、環境省・国立環境研究所「2020年度温室効果ガス排出量」から北海道局作成

積雪寒冷地域の北海道では、暖房に使用する灯油の割合が大きい。

石油製品需要構比(令和2年度)

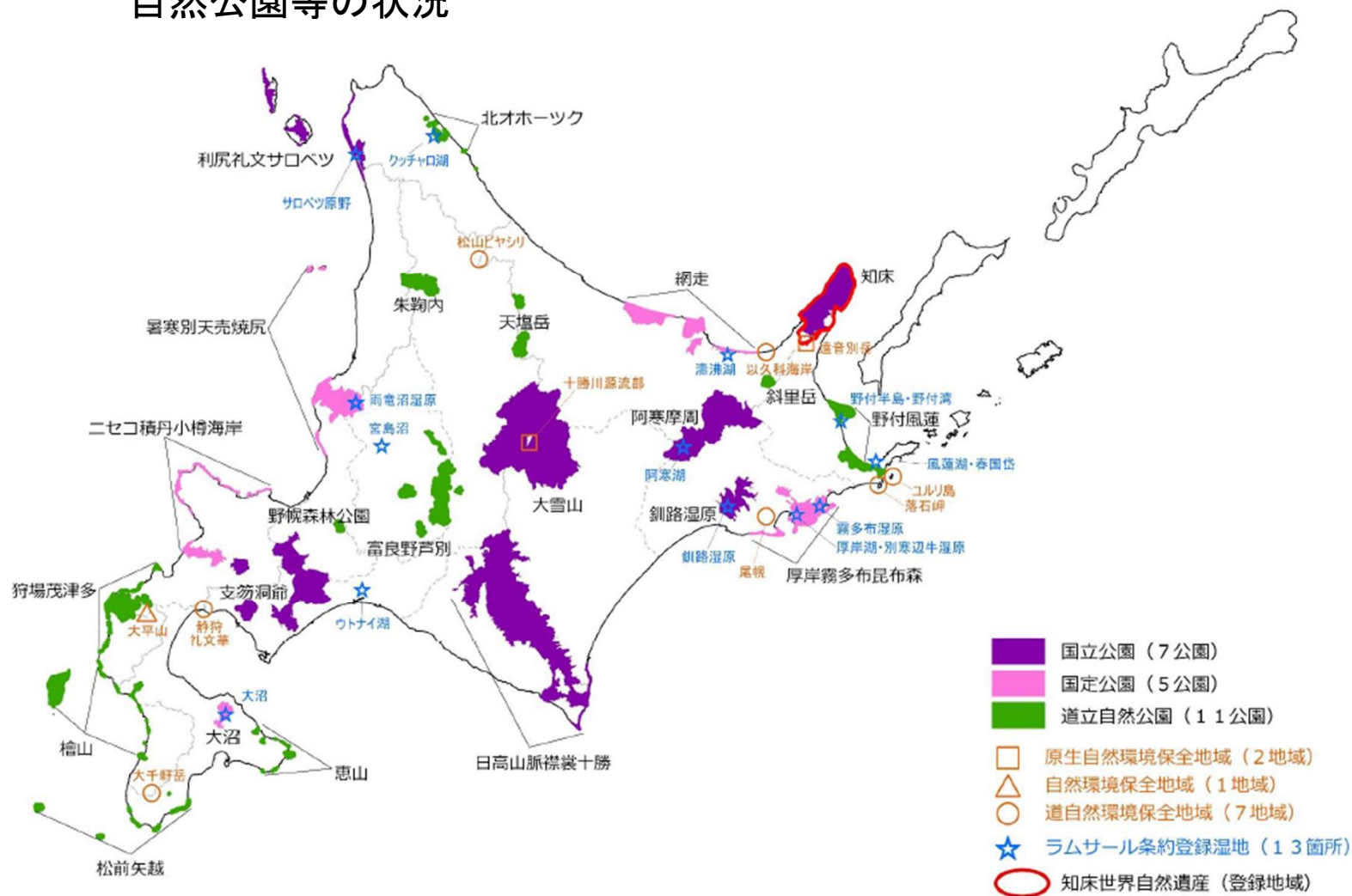


出典:北海道「北海道経済要覧2021」

自然環境

北海道には、世界自然遺産である知床をはじめ、国立公園やラムサール条約湿地など豊かで美しい自然環境がある。なお、日本のラムサール条約湿地数は53か所(面積155,174ha)あり、そのうち北海道は13か所(面積36,632ha)を有する。

自然公園等の状況



出典:北海道「北海道の自然公園と自然環境保全地域」

自然公園の面積等の状況

種別	公園数		公園面積		一人当たり面積	
	全国 (箇所)	北海道 (箇所)	全国 (ha)	北海道 (ha)	全国 (㎡/人)	北海道 (㎡/人)
国立公園	35	7	2,444,364	755,572	194.9	1,470.0
国定公園	57	5	1,391,216	141,478	110.9	275.3
都道府県立自然公園	311	11	1,915,027	125,350	152.7	243.9
合計	403	23	5,750,607	1,022,400	458.5	1,989.1

出典:環境省「自然公園都道府県別面積総括(令和6年8月8日現在)」、
総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(令和5年1月1日現在)」から北海道局作成